

◆能代終末処理場の汚泥に含まれる放射性物質の測定結果について

公共下水道の汚水処理施設である能代終末処理場から発生する汚泥（脱水汚泥）に含まれる放射性物質について測定したので、その結果をお知らせします

なお、微量の放射性セシウムが検出されましたが、健康や生活への影響はなく、安全性に問題のないレベルです

【測定結果】

1. 採取日：平成23年7月19日（火）
2. 測定機器：ガンマ線スペクトロメトリー
3. 測定機関：株式会社秋田分析コンサルタント

（単位：ベクレル/kg）

ヨウ素131	セシウム134	セシウム137	セシウム計	現在の処分形態
不検出	46	67	113	埋め立て処分 （大仙市協和の秋田県 環境保全センター）

注1)測定値は、含水率より補正した乾物換算値です

【国の基準値】

平成23年6月16日付け原子力災害対策本部「放射性物質が検出された上下水処理等副次産物の当面の取扱いに関する考え方」によると、セシウム134とセシウム137の合計値が8,000ベクレル/kg以下の場合は、管理型処分場で埋め立て可能となっている